

【学校教育目標】「確かな学力 豊かな心 健やかな体」
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校便り No.10
令和8年6月11日発行
文責 校長 梶原 康裕

キラ・ニコ・ドン・パツ



キラキラ輝く子ども ニコニコ笑顔の子ども ドンドン挑戦する子ども パツと行動する子ども

書いて、書いて、書いて

先日、各学級を参観して回っているときの事です。6年生の算数の時間にふらっと教室に入ってみると、女の子が計算の練習をしていた際、メモ帳を持っていました。そこには、筆算が書かれていました。そして、求めた答えをノートに書き、○付けです。小さな字でノートにぐちゃっと計算すると間違いが起きやすくなります。担任時代には「途中の計算は大きく書く！」ことを常々言っていたことを思い出しました。4年生以上になると四則演算が複雑化してきます。家庭学習をする際にも、このような計算帳を準備し、習慣化してほしいと思います。



癒されました(^ ▽ ^)

1, 2年生対象にポニーふれあい体験を運動場で行いました。子供たちはずっと「かわいい、かわいい～」を連呼していました。ポニーの名前はチャロ君。24歳で、人間でいうところの90歳おじいちゃんということでした。一人約1分間ずつ乗馬ができました。2時間目が終わるころ、6年生が運動場にやってきました。係員さんが「6年生が1年生の頃、チャロ君が来たと思いますよ。」と言われたので、6年生に聞くと「覚えています！」ということでした。最後に係員さんから「馬には人間のようには表情がないけど、耳で感情がわかりますよ。」ということを紹介がありました。さて、どの耳がどの感情でしょうか??



大きく育て

この時期は、植物がぐんぐん成長します。生活科の植物の観察で育てているアサガオもたくさん葉が茂り、つるを伸ばしてきました。また、学級園にあるキュウリもつるを地面にはわすぐらいになりました。1年生はアサガオの鉢に支柱を立て、5, 6年生は支柱にネットをつけて、誘引しました。

